

第20回 経営協議会議事要録

日時 平成19年6月27日(木)13時30分～15時10分
場所 事務局第2会議室
出席者 宮田亮平学長、堀江振一郎理事、玉井賢二理事、
六角鬼丈美術学部長、川井 學音楽学部長、石田義雄委員、佐々木正峰委員、
中村胤夫委員、根本二郎委員、末永壽男会計課長
監事：竹内雄也監事
欠席者 海老澤 敏委員、高階秀爾委員(以上2名の委員は委任状提出)

議事に先立ち、議長から、4月から附属図書館長の交代に伴い、陪席者が土田英三郎教授に変更した旨の紹介があった。

また、堀江理事から、事務職員の異動について報告があった。

議題

1. 平成20年度概算要求に係る重点事項の概要について
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、議長から補足説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 平成18年度財務諸表(案)について
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。なお、審議の中で、次の意見が出された。
(主な意見)
 - ・人件費抑制や各種の節約によって剰余金が生じたのであれば、大学が用途を自由に決められ、その努力が報われるような制度がほしい。
 - ・国の予算制度は単年度主義であり、国立大学法人も原則的に同じ制度であるため単年度予算の弊害が出ているものと思われる。例えば長期的計画(20年)を立てた上で、中期的(5年)及び短期的(1～3年)計画を立て、予算も計画に基づき執行できるような民間の実例も参考にした制度が望ましい。
3. 平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
議長から標記のことについて提案があり、総務課参事役から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。なお、審議の中で、次の意見が出された。
(主な意見)
 - ・音楽学部附属高校のユネスココンサート・パリ公演は、質の高い演奏で大変な好評を得たとの評判を現地の知人から聞いている。
 - ・情報公開及び情報漏洩の問題については、対策を万全にしてほしい。
4. 大学院映像研究科アニメーション専攻の設置申請について
議長から標記のことについて提案があり、総務課参事役から資料に基づき説明の後、藤幡映像研究課長から補足説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、審議の中で、次の意見が出された。
(主な意見)
 - ・アニメ専攻においても、鳥獣戯画等の日本の伝統文化を踏まえて教育してほしい。

報告及び連絡事項

- 1．東京藝術大学創立120周年記念事業募金の受入状況について
事務局専門員から、資料に基づき報告があった。
- 2．「パリへ - 洋画家たち百年の夢 - 」展等の終了について
大学美術館事務長から、資料に基づき報告があった。
- 3．平成18年度寄附金受入状況（平成19年1月～3月受入承認分）について
会計課長から、資料に基づき報告があった。
- 4．外部資金の導入状況について
社会連携推進課長から、資料に基づき報告があった。

5．その他

（主な意見）

・ともすれば人間性が軽視されがちな現代社会においては、人間形成に教育研究或いは社会的貢献を通して芸大がどのようにかかわっていくかが大切である。古典に学ぶというテーマを設定して、例えば、「平家物語」を題材とした展覧会等を開催するなど、社会に向けて問題意識を訴える企画を立ててはどうか。